

北九州市しあわせ長寿プラン

目標1 目指そう活力ある100年～健康長寿～

施策の方向性1 人や社会とつながり続け、役割をもって活躍できる機会の創出

1 生涯現役の充実したライフスタイルを応援

	項目	計画策定時現状値 (R4)	R6	目標値 (R8)	出典・考え方
成果指標	過去1年間に地域活動等に「参加したことがある」人の割合	25.1%	R7 調査	30%	出典：高齢者等実態調査（一般高齢者） 考え方：人や社会とつながり続けるための指標の一つとして設定。
達成目標（アウトプット目標値）	スポーツ関係のグループやクラブへ参加した人の割合	15.9%	R7 調査	増加	出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般・要支援高齢者） 考え方：人や社会とつながり続けるための指標の一つとして設定。
	趣味関係のグループやクラブへ参加した人の割合	18.3%	R7 調査	増加	出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般・要支援高齢者） 考え方：人や社会とつながり続けるための指標の一つとして設定。
	閉じこもりリスクの高い人の割合	29.1%	R7 調査	減少	出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般・要支援高齢者） 考え方：人や社会とつながり続けることが困難となる指標の一つとして設定。

## 2 就労やボランティア活動等の社会参加支援

	項目	計画策定時現状値 (R4)	R6	目標値 (R8)	出典・考え方
成果指標	就労している人の割合	20.9%	R7 調査	増加	出典：高齢者等実態調査（一般高齢者） 考え方：人や社会とつながりを続けるための指標の一つとして設定。
達成目標（アウトプット目標値）	高齢者就業支援センター就職決定者数	1,161 人	1,055 人	1,250 人	出典：高齢者就業支援センター調べ 考え方：高齢者の就業を支援する事業であるため、就職決定者数を指標とする。
	高齢者就業支援センター延べ利用者数	8,644 人	8,840 人	10,000 人	出典：高齢者就業支援センター調べ 考え方：高齢者の就業を支援する事業であるため、利用者数を指標とする。
	ボランティアコーディネート件数	4,386 件	4,918 件	5,100 件	出典：ボランティア・市民活動センター調べ 考え方：人や社会とつながりを続けるための指標の一つとして設定。
	社会福祉ボランティア大学の受講者数	1,853 人	1,263 人	3,000 人	出典：社会福祉ボランティア大学校調べ 考え方：北九州市社会福祉ボランティア大学校で開催する各種研修等の受講者数を指標として設定。

## 施策の方向性2 生涯を通じた健康づくり・介護予防

### 1 健康寿命の延伸を目指した健康づくり・介護予防の促進

	項目	計画策定時現状値 (R4)	R6	目標値 (R8)	出典・考え方
成果指標	健康づくりや介護予防のために取り組んでいることが「ある」人の割合	59.6%	R7 調査	63%	出典：高齢者等実態調査（一般高齢者） 考え方：コロナ禍前（令和元年度）の調査値62.6%への回復を目指す。

達成目標 (アウトプット目標値)	健康づくり・介護予防教室の参加者数	3,124人	8,376人	増加	出典：実績 考え方：地域の実情に合わせて場所や方法、内容を変更する可能性があるため、具体的な数値目標を定めず「増加」とする。
	後期高齢者健診受診率	14.06%	18.47%	23%	出典：福岡県後期高齢者医療広域連合 考え方：福岡県後期高齢者医療データヘルス計画に合わせ、23%とする。
	後期高齢者歯科健診受診率	8.1%	6.43%	16%	出典：福岡県後期高齢者医療広域連合 考え方：福岡県後期高齢者医療データヘルス計画に合わせ、16%とする。
	運動機能の低下リスクの高い人の割合	40.2%	R7調査	38%	出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 考え方：コロナ禍前（令和元年度）の調査値38%への減少を目指す。
	咀嚼機能の低下リスクがある人の割合	45.2%	R7調査	43%	出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 考え方：コロナ禍前（令和元年度）の調査値43.7%への減少を目指す。
	低栄養のリスクがある人の割合	9.4%	R7調査	9%	出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 考え方：前回調査未実施のため、他のフレイルリスク項目の減少率に合わせ目標値を設定。
	かかりつけ歯科医を決めている人の割合（一般高齢者）	77.9%	R7調査	80%	出典：高齢者等実態調査（一般高齢者） 考え方：コロナ禍前（令和元年度）の調査値79.6%への回復を目指す。
	かかりつけ歯科医を決めている人の割合（在宅高齢者）	73.6%	R7調査	80%	出典：高齢者等実態調査（在宅高齢者） 考え方：一般高齢者と同等の目標値を目指す。

## 2 地域で主体的・継続的に取り組める仕組みづくり

	項目	計画策定時現状値 (R4)	R6	目標値 (R8)	出典・考え方
成果指標	通いの場に参加した人の割合	19.3%	R7 調査	23%	出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 考え方：コロナ禍前（令和元年度）の調査値23.4%への減少を目指す。
達成目標（アウトプット目標値）	健康づくり推進員の活動への延べ参加者数	260,576人	277,268人	増加	出典：実績 考え方：住民による主体的な活動であるため、具体的な数値目標を定めず、「増加」とする。
	介護予防リーダー（普及員）の登録者数	991人	1,049人	増加	出典：実績 考え方：住民による主体的な活動であるため、具体的な数値目標を定めず、「増加」とする。
	健康づくり・介護予防教室の参加者数	3,124人	8,376人	増加	出典：実績 考え方：地域の実情に合わせて場所や方法、内容を変更する可能性があるため、具体的な数値目標を定めず「増加」とする。
	通いの場等への専門職の関与回数	703回	806回	増加	出典：実績 考え方：地域のニーズに応じて支援するものであるため、具体的な数値目標を定めず、「増加」とする。
	食生活改善推進員が実施する「ふれあい昼食交流会」の延べ参加者数	18,278人	21,750人	増加	出典：実績 考え方：住民による主体的な活動であるため、具体的な数値目標を定めず、「増加」とする。